

20th Oka Symposium

下記の通り第20回岡シンポジウムを開催致しますのでご案内申し上げます。今年は対面とZoomによるオンライン配信併用の開催となります。参加を希望される方は、【12月11日(日)17:00】までに、[参加申込フォーム](#)から登録をお願い致します。その際、対面での参加かオンラインでの参加かをお知らせ下さい。対面での参加人数によっては、会場を変更する可能性がありますことご了承下さい。

篠田正人 松澤淳一 吉川謙一

記

日時：2022年12月17日(土)～12月18日(日)

場所：奈良市北魚屋西町 奈良女子大学理学部数学教室 新B棟4階 階段教室 B1406

開催形式：対面とZoomによるオンライン配信併用

プログラム

12月17日(土)

13:30 - 15:30 縫田光司 (九州大学)

タイトル：数学者、暗号の野で遊ぶ

アブストラクト：暗号分野と関係する数学としては素因数分解や楕円曲線が有名であるが、これらは氷山の一角にすぎない。本講演では、数学と暗号の二刀流に励む話者の研究を中心に、「数学者として楽しめた」暗号分野の題材をいくつか紹介する。

16:00 - 18:00 桂利行 (東京大学)

タイトル：正標数の代数幾何

アブストラクト：正標数の代数幾何には標数0には存在しない現象が現れ、1950年代には pathology と呼ばれることもあったが、現代では理論的な解明が進み、大きな理論の中に組み込まれている。この講演では、K3曲面、Enriques曲面、Abel多様体などを対象として、正標数特有の世界をご紹介します。

12月18日(日)

10:30 - 12:30 神本丈 (九州大学)

タイトル：特異点解消定理と局所ゼータ関数の解析接続

アブストラクト：広中の特異点解消定理が局所ゼータ関数の解析接続の問題に応用されて以来、今日まで様々な解析の問題に、特異点解消定理が応用され、強い結果が得られてきた。この講演では、このような流れにある研究を振り返りながら、最新の成果について紹介することを目標とする。

14:00 - 16:00 宮岡礼子 (東北大学)

タイトル：光の波面の幾何学から

アブストラクト：光の波面を源泉とする等径超曲面とよばれる図形を紹介し、分類理論やガウス像のフレアホモロジーなどの話をする。Clifford環の表現や、Pompeiu問題など代数、解析にも関わるので、興味を持っていただけると嬉しい。

問い合わせ先：奈良市北魚屋西町 奈良女子大学岡数学研究所 松澤淳一

(Phone: 0742-20-3361, e-mail:matsuzawa@cc.nara-wu.ac.jp)